

こどもの国ニュース

- 2 秋のイベントを振り返る
- 2 牧場さんぽ
- 3 緑の募金で森づくり人づくり
連載コラム「自然の扉 ひらけごま」
- 4 児童厚生員を育てる
しぜんのことあれこれ

第594号 2019年 11 月号

発行 社会福祉法人こどもの国協会
〒227-0036 横浜市青葉区奈良町700(☎045-961-2111)
編集・制作 (株)朝日新聞メディアプロダクション 印刷 (株)朝日プリンテック

こどもの国ニュースの用紙は王子製紙株式会社のご提供によるものです



見てね 羊レース 牧場まつりへGO!

11月のイベントを紹介

秋も後半、11月の注目イベントをご紹介します。寒くなる前に、自然の中で思いっきり遊びましょう！そして12月14日の土曜日、いよいよスケート場がオープンします。横浜周辺では珍しい、木々に囲まれた全天候型屋外リンクです。今年の冬は、親子でスス〜と滑ってみませんか？

11月3、4日に、こどもの国牧場で「牧場まつり」が開催されます。名物の「羊レース」があります。レース前に投票券をもらい、速そうな羊に賭けましょう。見事に当たれば素敵な景品がもらえます。

「うまうまレース」馬になつて競争は、親子や夫婦で馬になりきって走ります。ほかに「早押し競争」「アニマルクイズ」「羊毛工作教室」「縁日」など楽しいイベントが盛りだくさん。ここにしかない「うしのかざぐるま」が作れます。

10日の中央広場は「こどもの国マルシェ」一色です。中央林間手づくりマルシェの出店者の中から、上質な手づくり作品の56店舗が並びます。アクセサリや小物、家具や衣類、美味しいものなど、ほかでは手に入りにくい素敵な何かを見付け

◆アイススケート利用料

対象	スケートセット券(入園+入場+貸靴)	スケート場入場券(スケート場入口で販売)	スケートメイト(入園入場貸靴期間中7~)
幼児	700円	200円	3,000円
小中学生	800円	200円	3,500円
おとな	1,500円	500円	6,000円
貸靴	—	600円	—

◆早朝スケート教室参加費

2日間	参加費(貸靴込)	参加費(靴持込)
幼児	2,300円	1,500円
小中学生	2,500円	1,700円
スケートメイト	1,000円	—

スケート場準備中

夏、こどもの国のプールのお越しにいただいた方は覚えていらつしやると思います。レジャーシートを敷いてみんなでお弁当を食べた大屋根の下。ここがアイススケートのリンクに大変身します。

いま園では、スケート場のオープンに向けて一生懸命に準備中。きれいに掃除をするのはもちろん、スケート靴で歩けるようにゴムマットを敷き詰め、貸靴のお手入れ、製氷設備や整氷車の点検、スタッフの指導などなど。オープンの日までに完璧

に仕上げておきます。

こどもの国のスケート場のセイルスポイントは、何と云っても周りの環境です。冬なので緑は少なくなつてしましますが、木々の間を抜けてくる自然の風に吹かれながらのスケートは、頬の冷たさがまったく気にならないほどの快適さなんです。大屋根があり、雨や雪でも大丈夫。まだスケートをしたことがない方、屋内リンクしか経験がない方、ぜひこどもの国のスケート場で滑ってみてください。何度でも来たくなくなつてしまいますよ。

営業は来年2月24日までです。スケートは初めて、何度かトライしたけどうまく滑れない、という方も心配いりません。いろいろな初心者向けのスケート教室を用意してお待ちしています。

まずは「早朝スケート教室」です。土日の営業時間の前、他のお客さまがいないリンクでスケートの基本を覚えていただきます。連続する土日セット2日間で開催します。事前申し込みで、参加費はこの記事内の表をご覧ください。ほかに「平日スケート教室」「学校団体スケート教室」もあります。詳しくはホームページで。

お願い

こどもの国は、皇太子殿下(現上皇陛下)のご結婚に際し、国民からお祝い金(現上皇后陛下)とお二人で相談され、「子どものための施設」とのお気持ちを示されたことから、昭和40(1965)年の5月5日に開園しました。子どもたちが豊かな自然の中でのびのびと遊び、さまざまな体験を通じて学ぶことができる児童厚生施設です。

小紙は開園当初から、こどもの国の活動を紹介します。全国の教育委員会のご協力、小学校等に配布していただいております。引き続き配布していただきますよう、お力添えをお願い申し上げます。

教育 各長 各位
教育事務 各所長 各位
社会福祉法人こどもの国協会

tv asahi GO

レアうま魚&珍仏像&世界の楽器...
"子ども博士"の爆笑授業!!

サンドウィッチマン & 芦田愛菜の

博士5人

新番組
毎週土曜よる6時56分

秋のイベント



今年で27回目、秋の恒例行事は9月22、23日に開催しました。今年は歴史的なサンマ不漁のニュースが流れるなか、例年通りに宮城県女川港と気仙沼

★サンマを炭火で食べる会



今年で27回目、秋の恒例行事は9月22、23日に開催しました。今年は歴史的なサンマ不漁のニュースが流れるなか、例年通りに宮城県女川港と気仙沼

★サンマを炭火で食べる会

今年で27回目、秋の恒例行事は9月22、23日に開催しました。今年は歴史的なサンマ不漁のニュースが流れるなか、例年通りに宮城県女川港と気仙沼



みなさんは、秋という何を思い浮かべますか？ スポーツの秋、芸術の秋など様々ありますが、動物にとつてはもっぱら食欲の秋です。

動物たちも季節でも安定してごはんをあげられます。しかし涼しくなると動物の体は本能的に食欲が増し、たくさんごはんを食べるようになります。

動物たちはお腹が空いていると、ごはんをあげる時に飼育員に寄って来たり、食べ終えるまでが早くなったりします。

動物たちも食欲の秋 おやつタイム観察しよう

お客様からも動物のおやつをもらっています。我先にと食べにくるヤギや、フェンス越しにおやつをねだってサクサクと音を立てながら食べるモルモット、くちばしでツンツンついて少しずつ食べるチャボなど、様々な動物が餌を食べる様子を見てもらうことができます。

動物たちはお腹が空いていると、ごはんをあげる時に飼育員に寄って来たり、食べ終えるまでが早くなったりします。特にオスヤギのミノくんの場合、分かります。ごはんが足りないと大きな響く声で鳴き始めます。「ごめんね、足りなかったんだね」と言いながらお代わりを持っていくと、とても良い食べっぷりを見せてくれます。

今年も暑い夏を乗り切った動物たちはモリモリごはんを食べています。私たち飼育員もひと安心です。しっかりと食べて寝て、遊び、元気に過ごしてくれることを願っています。

こどもの国 11月・12月の催し

- 11月
 - 2日(土)、9日(土)、16日(土) あそびの広場 11~15時、プール発券所前、かざぐるま、ストローとんぼなどをボランティアが指導。参加無料、雨天中止。
 - 2日(土)、3日(日)、4日(振)、23日(祝)、24日(日) たんぼぼフリーマーケット 9時30分~16時、中央広場。雨天中止。出店希望の方は☎090・9376・6098まで。
 - 3日(日)、4日(振) 牧場まつり 10~15時、こども遊牧場、楽しいイベント盛りだくさん!、詳しくはホームページで。雨天中止▽うしのかざぐるま 10~15時、牛・羊の牧場前、参加無料、雨天中止。
 - 8日(金) ノルディックウォーキング歩こう会 9時45分、正面陸橋下集合、雨天予備日15日(金)、詳しくはホームページで。
 - 9日(土)、10日(日)、16日(土) 第38回こどもの国サッカー大会 9時40分~16時、総合グラウンド・少年サッカー場、近隣のサッカー協会から推薦されたチームが戦います。観戦自由、雨天予備日17日(日)。
 - 9日(土)、10日(日) 大道芸に挑戦しよう 10~15時、中央広場、ジャグリングや皿回しに挑戦。参加無料、雨天時は皇太子記念館。
 - 10日(日) 紙芝居ライブ 11時、13時、14時30分、児童センター、「心をつなぐ紙芝居の会」の実演、参加無料。
 - 10日(日) パフォーマンスショー 11時、14時、中央広場、プロのパフォーマーの熱演。参加無料、雨天時は皇太子記念館。
 - 10日(日) こどもの国マルシェ 9時30分~16時、中央広場、中央林間手づくりマルシェから56店が出店、手づくり体験もできます。雨天中止。
 - 16日(土)、17日(日) 竹馬・フラフープであそぼう 10~15時、中央広場、遊具の無料貸し出し、家族みんなで体を動かそう!雨天中止。
 - 17日(日) フープマン・ユーヤのフラフープ教室 13~15時、中央広場、参加無料、雨天中止。
 - 17日(日) 紙飛行機を飛ばそう 10~14時、なかよし広場、輪ゴムで飛ばす紙飛行機を町田紙飛行機倶楽部のスタッフが指導、参加無料、雨天中止。
 - 23日(祝)、24日(日) 自然スタンプビンゴ<紅葉バージョン> 10月と同じ、木々がきれいに色づく紅葉の季節。いろいろな秋を探してみよう!
 - 23日(祝)、24日(日)、30日(土) もみじのかざぐるま 10~15時、白鳥湖ボートのりば前、参加無料、雨天中止。
- ◇児童センター工作教室
 - 3日(日)、4日(振) 牛のメモスタンド 工作、10時30分、13時、14時30分、各回15人、参加費300円▽10日(日) 手口クロお皿 陶芸体験、10時30分、13時30分、各回20人、参加費800円▽17日(日)、23日(祝)、24日(日) スノードーム 工作、10時30分、13時、14時30分、各回15人、参加費400円。 ※陶芸体験、工作は開園から現地にて受け付け、定員になり次第終了。
- 12月
 - 24日(火)まで ジャンボクリスマスリース 開園中常時、正面陸橋下、直径7.5mの大きなリースと一緒に記念撮影。
 - 1日(日) こどものまち「ゆめゆめシティ」 10~15時、皇太子記念館ほか、要らなくなったおもちゃやお仕事体験で、この町だけで使える通貨「チャイル」をゲット。お買い物を楽しもう。お仕事体験は事前申し込み制 ☎045・961・2111。11月11日(月) 9時から受付、小学生対象、先着300人、雨天一部中止、詳細はホームページで。
 - 7日(土)、8日(日)、14日(土) 15日(日)、21日(土)、22日(日) 竹馬・フラフープであそぼう 11月と同じ。
 - 7日(土)、14日(土)、21日(土) あそびの広場 11~15時、児童センター、かざぐるま、ストローとんぼなどをボランティアが指導。参加無料、雨天中止。
 - 8日(日) フープマン・ユーヤのフラフープ教室 11月と同じ。
 - 8日(日)、15日(日)、22日(日) たき火広場 10~15時、中央広場、たき火にあたってあたたまる。焼きマシュマロ(100円)もおすすめ。参加無料、雨天中止。
 - 14日(土) アイススケート場オープン 来年2月24日(振)まで、詳細は1面の記事またはホームページで。
 - 15日(日) 冬の虫さがしかんさつ会 10時30分集合、正面入口広場、冬の虫を探そう、参加無料、雨天中止▽野鳥の巣箱はずし 13時30分集合、正面入口広場、巣箱をはずしながら野鳥のかんさつ、参加無料、雨天中止▽紙飛行機を飛ばそう 11月と同じ▽紙芝居ライブ 11月と同じ。
 - 21日(土)~来年2月11日(祝) 冬の森のたからもの 開園中、正面入口案内所で受付、森の木の実などを拾って自分だけのたから箱を作ろう、参加費200円。
 - 26日(木)~来年1月7日(火) ジャンボ鏡もち 大きな鏡もちの前で記念撮影、開園中、正面陸橋下▽27日(金)、28日(土) ミニかどまつ作り 10時30分、13時30分、児童センター、高さ約30cmのかどまつを作って新年の準備、各回10人、参加費700円、往復はがきでの事前申し込み制、詳しくはホームページで▽29日(日)、30日(月) 雪のかざぐるま 10~15時、ビクターセンター、参加無料、雨天中止。
- ◇児童センター工作教室
 - 8日(日) ヒモ作りのうつわ 陶芸体験、10時30分、13時30分、各回20人、参加費千円▽15日(日) ドングリリース 工作、10時30分、13時、14時30分、各回15人、参加費300円▽22日(日) 手型プレート 陶芸、10時30分、13時30分、各回20人、参加費800円。 ※受付要項は11月と同じ。
- こどもの国牧場の催し■問い合わせ ☎045・962・0511
 - ◇バターづくり教室/日曜 13時、ミルクプラント2階、開園と同時にミルクプラント売店で受け付け、先着12組、参加費1組500円。
 - ◇チーズづくり教室/日曜 14時、ミルクプラント2階、開園と同時にミルクプラント売店で受け付け、先着10組、参加費1組500円。
 - ◇乳搾り体験/土曜、日曜、祝日 11時、牧場牛舎前、開園より牧場エサ売り場で整理券配布、先着50人(4歳以上対象)、参加無料、雨天中止。

こどもの国では一年を通じてたくさんイベントを開催しています。その中から、秋の前半に開催した三つのイベントをご紹介します。

港のご協力で、姿の良いサンマ3千尾を送っていただきました。初秋の日差しはなつかしく、家族で、友達同士で、塩をふったサンマがおいしい具合に焼けるまで懸命に団扇を振りまわした。ほど良く焼けたサンマに大根おろしとポン酢。緑に囲まれて食べる焼き立てのサンマは、まさに秋の味覚の代表です。子どもも大人も大満足の2日間でした。

9月29日に開催したこのイベントは「小さなこどものまち」です。使わなくなったおもちゃや牛乳の紙パック、園内などで拾ったドングリを持参したり、カードの色付けのお手伝いなどを「チャイル」に交換し、色々なお買い物してもらいました。この町ではお客さんも店員さんもすべて子ども。ヨーヨー、ポウリング、フリーマーケット、ポップコーン、ジュースなどのお店で、大きな声を上げてお客さんをお呼びこみました。

★ゆめゆめマーケット

こどもどうぶつえんでは、どんな季節でも安定してごはんをあげられます。しかし涼しくなると動物の体は本能的に食欲が増し、たくさんごはんを食べるようになります。

(こども動物園 中谷あい野)

盛況でした

★青空ヨガ教室

10月7日、心地よい秋の青空とそよ風のもと、ヨガインストラクター大箸圭穂さんの指導で開催しました。ヒーリングミュージックがゆったりと流れるなか、独特の呼吸法でポーズをととり、自然と一体となって穏やかなひと時となりました。大箸さんからは「お天気に恵まれ自然を感じながらヨガに触れていただき、お客さまも私もとても気持ちよい素敵な時間を過ごせました。また、こどもの国でヨガができたらと思います」とのコメントがありました。



次回の開催などについてはホームページをチェックしてください。

緑の募金で森づくり人づくり

公益社団法人「国土緑化推進機構」は、未来の子どもたちに豊かな森林を残すことを理念に掲げ、国民参加の森づくりを推進しています。多様な取り組みを展開しており、こどもの国の緑化事業にもご協力いただいています。「緑の募金」は中心的な活動のひとつで、各地の森づくり、人づくりに生かされています。

国土緑化推進機構は、全国植樹祭を毎年春に都道府県との共同で開催していることで知られています。1950（昭和25）年以来、全国各地に天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、両陛下のお手植えや、参加者による記念



植樹が行われています。

全国植樹祭と同様に、「緑の募金」も、国内外の緑化活動について理解を広めるねらいがあります。地球の未来、日本の未来、子どもたちの未来は、緑とともにある。そんな思いが込められているのです。「緑の募金」は平成7年に

日本宝くじ協会の助成

すくすくアイランド 来てね!



達にあわせた遊具がたくさん並んでいます。すくすくアイランドには、寝返り、腹ばいから、つかまり立ちをサポートする遊具や、離れたところから会話ができる伝声管やパラボラがあります。休憩スペースもあり、ご家族連れでいつも大変なにぎわいです。宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け整備されたことを大きく掲げ、感謝の気持ちを表しています。

一般財団法人「日本宝くじ協会」は、宝くじの社会貢献広報事業として、公益法人などが行う社会福祉、社会教育、青少年育成、安心安全などの公益事業に対して助成をし、宝くじの収益金が広く人々の生活向上に役立つよう取り組んでいます。「こどもの国」も、日本宝くじ協会のご理解を得て、助成を受けています。2018（平成30）年度には、大型の遊具「すくすくアイランド」写真をつくりました。乳幼児（0歳から3歳）、幼児（3歳から6歳）、児童（6歳から12歳）のエリアに分かれ、それぞれの年齢や発

達にあわせた遊具がたくさん並んでいます。すくすくアイランドには、寝返り、腹ばいから、つかまり立ちをサポートする遊具や、離れたところから会話ができる伝声管やパラボラがあります。休憩スペースもあり、ご家族連れでいつも大変なにぎわいです。宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け整備されたことを大きく掲げ、感謝の気持ちを表しています。

「緑の募金法」が制定されるまでは緑の羽根募金と呼ばれていました。地域、学校、企業、職場の個人・団体から善意の寄付を募っています。家庭募金や街頭の募金箱、インターネットを通じて、春と秋の緑の募金キャンペーン期間を中心に受け付けています。写真、同機構提供。こうした募金は森林ボランティアやNPOなどによる国内外での森づくり、人づくりの支援に活用されています。

全国的、国際的な活動を中央事業として国土緑化推進機構が担い、地域での活動については各都道府県の緑化推進委員会が主に担当しています。また、幼稚園・保育園の子どもたちを対象に「森の教室」という全国巡回のプロジェクトがあり、森林の役割について学び、実際にどんぐりを植えて育てます。小中学校には、全国で約3千3百の「緑の少年団」も組織されており、森林で環境学習をしたり、地域の緑化活動に協力したりしています。

- 各地のこどもの国（※内容は各ウェブページ等を参照ください）
- 北海道子どもの国（砂川市） ☎0125・53・3319
 - 霊山（城）子どもの村（福島県伊達市） ☎024・589・2211
 - 千葉子どもの国「キッズダム」（市原市） ☎0436・74・3174
 - 愛宕山子どもの国（甲府市） ☎055・253・5933
 - 富士山子どもの国（静岡県富士市） ☎0545・22・5555
 - 愛知子どもの国（西尾市） ☎0563・62・4151
 - 岐阜県子どもの国（養老町） ☎0584・32・0501
 - びわ湖子どもの国（滋賀県高島市） ☎0740・34・1392
 - 鳥取砂丘子どもの国（鳥取市） ☎0857・24・2811
 - 沖縄子どもの国（沖縄市） ☎098・933・4190



ハナミズキは北米原産の落葉樹で、春先、葉が出る前に開花します。今から百年ほど前に、当時の東京市長がアメリカのワシントンDCにサクラの苗木を贈ったお礼にと、日本に送られた樹木です。春の花と秋の紅葉

野鳥に人気 ハナミズキ

紅葉し始め、やがて真っ赤になり、実を残して散っていきます。実の付き方は面白く、花が付いていた枝の先を囲むように、赤いラグビーボール型の実をつけます。実が枝から全て無くなる

秋の樹木は、紅葉だけでなく木の実や野鳥の観察も一緒に楽しむことができますね。（プロ・ナチュラリスト 石井 碧）



木の葉の色が一日一日と変化していく11月。野山だけでなく、住宅街や街中でも多くの木の実を見つけることができます。街路樹や庭木として重宝されているハナミズキ

ハナミズキの実が人間が食べられることはできません。しかし、野鳥たちには大人気です。葉の落ち始めるこの時期、赤く束のようになって付く

やわらか♡ハート
nepia 領域をこえ 未来へ OJI

売上げNo.1 吸収性パツグンの長巻きキッチンタオル

2ロール 4ロール

※「ペーパータオルカテゴリー 70カット以上のロールタイプ」市場、ネピア激吸収キッチンタオルブランド、累計販売金額 / 容量シェア(2016年1月～2018年12月)、全国、全業態、インテージSR調査

nepia 激吸収キッチンタオル

育成財団が研修を実施しています



児童厚生員、子どもをサポート

よく聞き 認める大切さ

遊びを通して子どもたちの成長を手助けする児童厚生員の研修を、一般財団法人「児童健全育成推進財団」(育成財団)が行っています。基礎、中堅、指導者などの研修があり、ステップを踏んでスキルを高めることができます。「こどもの国」は野外型の大型児童館と言えます。この児童館と、放課後児童クラブや母親クラブなどを支えてくれているのが育成財団で、研修会の実施も育成財団の大きな役割のひとつです。

研修のスタートは、基礎研修会から。受講者は、児童館や児童クラブでならたての職員もいれば、経験者も、保育士などの資格をもつ職員もいて、さまざまなお考えで研修会場に集まっています。

基礎研修では、4日間で実技を含む12科目を受けます。児童館、児童クラブはどのような目的と機能があるのか。年齢や発達に合った子どもと接するにあたって、知っておかなければならないことは何か。地域と、どうつながるか。安全・安心とは……。子どもたちを取り巻く最近の複雑で深刻な状況を改めて考え、学び直しをする機会です。また、研修会で全国の児童館、児童クラブの仲間と知り合うことは刺激になり、励みともなります。

「困った子は、困っている子」。受講者は、講師のこんな言葉が印象に残ります。子どもは個性にあふれ、じっとしているのが苦手な子どもも、ひとりでも本を読んでいる子どももいます。大人はついつい先回りして、大人の都合で何かをさせようとします。甘やか

と甘えさせることは違う。子どもに言うことをよく聞き、認めてあげること。困っていることを知る。自分たちで考え工夫して遊ぶことができるように導いてあげること……。そうしたことの大切さを研修で学びます。

この基礎研修では、児童厚生2級指導員の資格が得られます。さらに専門性を高めるには、児童厚生1級指導員の資格が取得できる中堅研修があり、その後も1級特別セミナーや、児童健全育成指導士を目指す指導者養成研修などが用意されています。

育成財団(電話03・3486・5141)は東京都渋谷区に事務所を構え、ホームページ上で順次、研修会の案内や募集をしています。詳しい研修内容や申し込み方法は、育成財団のHPをご覧ください。

しぜんのこと あれこれ

ツチイナゴ 成虫のまま越冬 寒くても大丈夫



冬が近づくと、昆虫を見かけなくなるようになります。寒さの苦手な多くの昆虫たちは、基本的にはじっと動かず、エサも食わずに冬を過ごします。草地にたくさんいたバッタは、秋に土の中に卵を産みます。卵を産んだ親はその後死んでしま

ます。卵は翌年の6月頃までそのまま土の中で過ごし、ふ化して幼虫になります。バッタの仲間でも唯一、ツチイナゴは成虫のまま冬を越します。イナゴといっても大型で、トノサマバッタに似ています。目のところに涙を流したような模様があるのが特徴で、ほかのバッタと区別できます。ススキやクズの葉を食べ、開けた草地よりも林の周辺に近いところに多いバッタです。幼虫は夏に現れ、成長して秋に成虫になります。成虫は冬になっても死ぬことはなく、枯草の下でじっとして過ごします。冬の草地ではあまり生き物に出会いませんが、天気の良い日に歩くと、突然跳ねるツチイナゴに出会うことがあります。わりと見られる昆虫なので、探してみるのも楽しいです。(催事広報課 宮下健一)



〒227-0036 横浜市青葉区奈良町700
☎045-961-2111 Fax045-962-1366
http://www.kodomonokuni.org



開園時間 9時30分～16時30分(7月、8月は17時まで)
入園は15時30分まで(7月、8月は16時まで)

休園日 毎週水曜日(水曜日が祝日の場合は開園します)、12月31日、1月1日

交通 東急田園都市線・JR横浜線「長津田駅」でこどもの国線に乗り換え7分、「こどもの国駅」下車、徒歩10分。小田急線「鶴川駅」下車、「こどもの国線」由奈良北団地行き小田急バス10分、「こどもの国」下車



◇すべて税込料金です。現金のみのお取り扱いとなります。

入園料	一般	団体		年間パスポート(入園のみ)	
		30人(20人以上)	300人以上	年間パス	ウイークデイパス
おとな	600円	480円	360円	7,000円	3,000円
高校生	600円	360円	290円		
中学生	200円	160円	120円	2,500円	1,000円
小学生	200円	120円	90円		
幼児※	100円	80円	60円	1,000円	500円

◎平日シルバー割引 65歳以上の方の平日(土曜・日曜・国民の祝日・休日以外の日)の入園料は300円。入園券売り場で身分証明書など、ご本人の年齢が確認できるものを提示して、「平日シルバー券」をご購入ください。

◎障害者手帳・療育手帳・小児慢性特定疾患児手帳・精神障害者保健福祉手帳などをお持ちの方は本人と付き添い1人が半額になります。入園券売り場で手帳をご提示ください。※幼児は3歳以上です。0～2歳は無料。

駐車場(1700台収容)	普通車	マイクロバス・大型バス
駐車料(1日1回の料金)	1,000円	2,000円

◎土・日・祝日は駐車場と周辺道路が大変混雑します。電車・バスのご利用をお願いします。

■雪印こどもの国牧場 〒227-0036 横浜市青葉区奈良町700

(雪印こどもの国牧場は、こどもの国の園内にある施設です)

ご案内 ☎045-962-0511 Fax045-962-0512

http://www.kodomonokuni-bokujyo.co.jp

◎10月1日以降に発券する年間利用券ではプール・スケートをご利用いただけません。

月刊 親子で読めるニュースマガジン junior AERA

ジュニアエラ

毎月15日発売 ●定価499円(税込) A4判変型 オールカラー52ページ 定期購読受付中!

ジュニアエラなら、政治も経済も国際問題も 気になるニュースがよくわかる!

Point1
みんなが知りたい時事ニュースを、朝日新聞の専門記者らがジュニア向けにわかりやすく解説します。

Point2
教科書では学べない新鮮なニュースと深い分析で、中学受験や高校受験の学習にも対応します。

Point3
「時事問題の重大ニュース」「世界遺産」「お金」「AI」など、毎号8～10ページの大特集で、関心の高いテーマを深く掘り下げます。

特集
■世界遺産で学ぶ日本史
■ウイルス・細菌と戦う免疫のちから
■2018～19年 ニュースな100人
■憲法は誰のもの? ■観察! スゴイいきもの ■楽しもう! プログラミング

好評連載
■歴史人物 ON STAGE
■サイエンスジュニアエラ
■#2020 バッククの英会話
■スポーツのうんちく! ■子ども地球ナビ ■のぞき見探偵が行く!!
■みんなみんな子どもだった

新連載
■「東大クイズ王」に挑戦!!
■未来のお仕事案内
■Sexy ZoneのQ&Aステーション

ジュニアエラは私立中学校の入試問題や学校・学習塾の教材にも使われています。

朝日新聞出版

お求めは書店、ASA(朝日新聞販売所)でどうぞ。https://publications.asahi.com/

1オチーズで チーズデビュー

雪印メグミルク

特長1 ★塩分35%カット (ナトリウム量35%カット日本食品標準成分表2010プロセスチーズ比)

特長2 ★歯が生えそろう前でも食べられる クリームチーズを配合したやわらかな食感。

特長3 ★「自分で食べる」を育てる お子様自分で持ってかじりやすい板状形状。 ※お子様が食べている時は、必ずそばについてあげてください。

「1オからのチーズ」 「1オからのチーズトマト入り」

詳しくはWebで

「1オからのチーズ」のお求めは、お近くのスーパーで。

雪印メグミルク お客様センター 0120-301-369 http://www.meg-snow.com